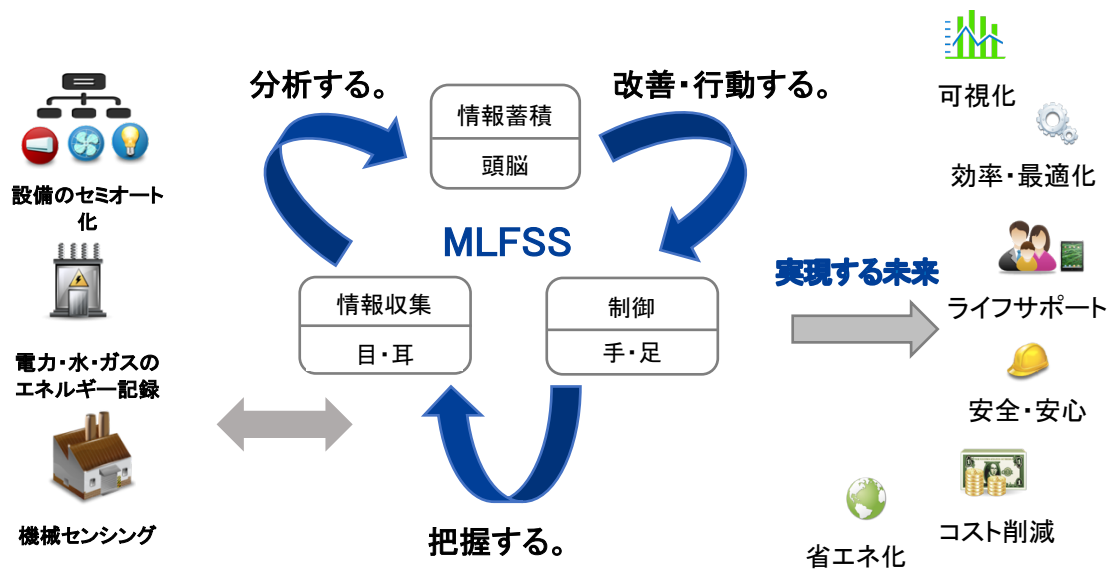


Mirror Life Facility Support System

建築付帯設備可視化制御システム

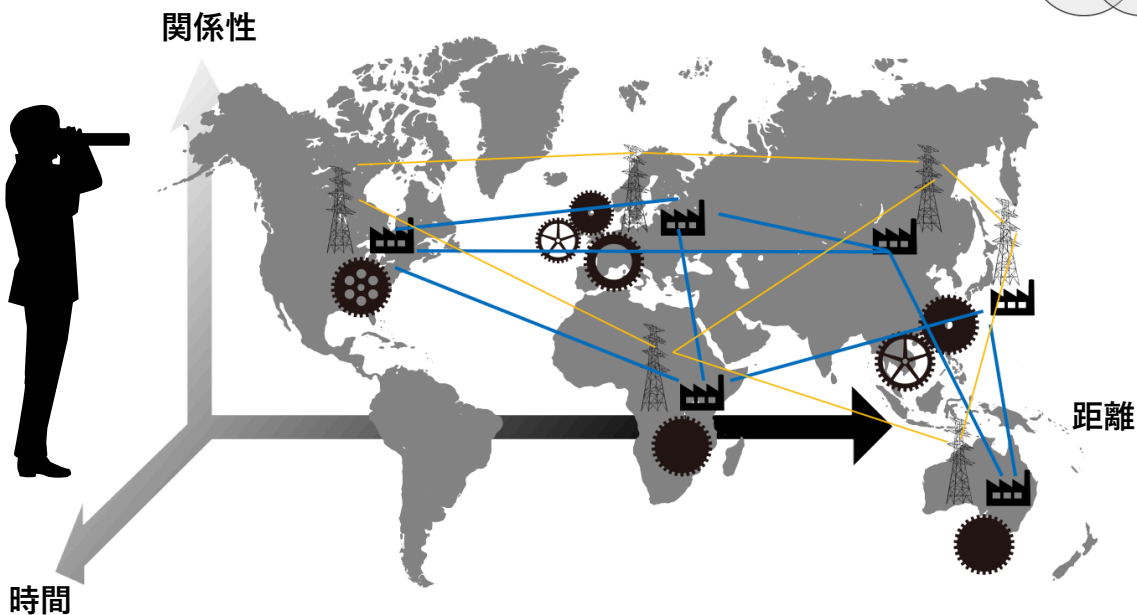
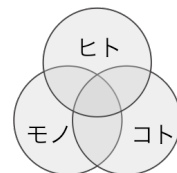
本システムは、ユーザ自身が「把握・分析・行動」しながら、合理的に効率改善できる環境基盤を整え、「見える化」「外部システムコミュニケーション通信」「設備の可視化制御」により、機器の連動を容易に設定を可能とするインフラを構築しています。

その上で、「環境との対話」、「お客様との対話」、「自らの対話」を実現し、成長し、今までの中央監視制御システム概念を超える仕組みとして構築された仕組みです。



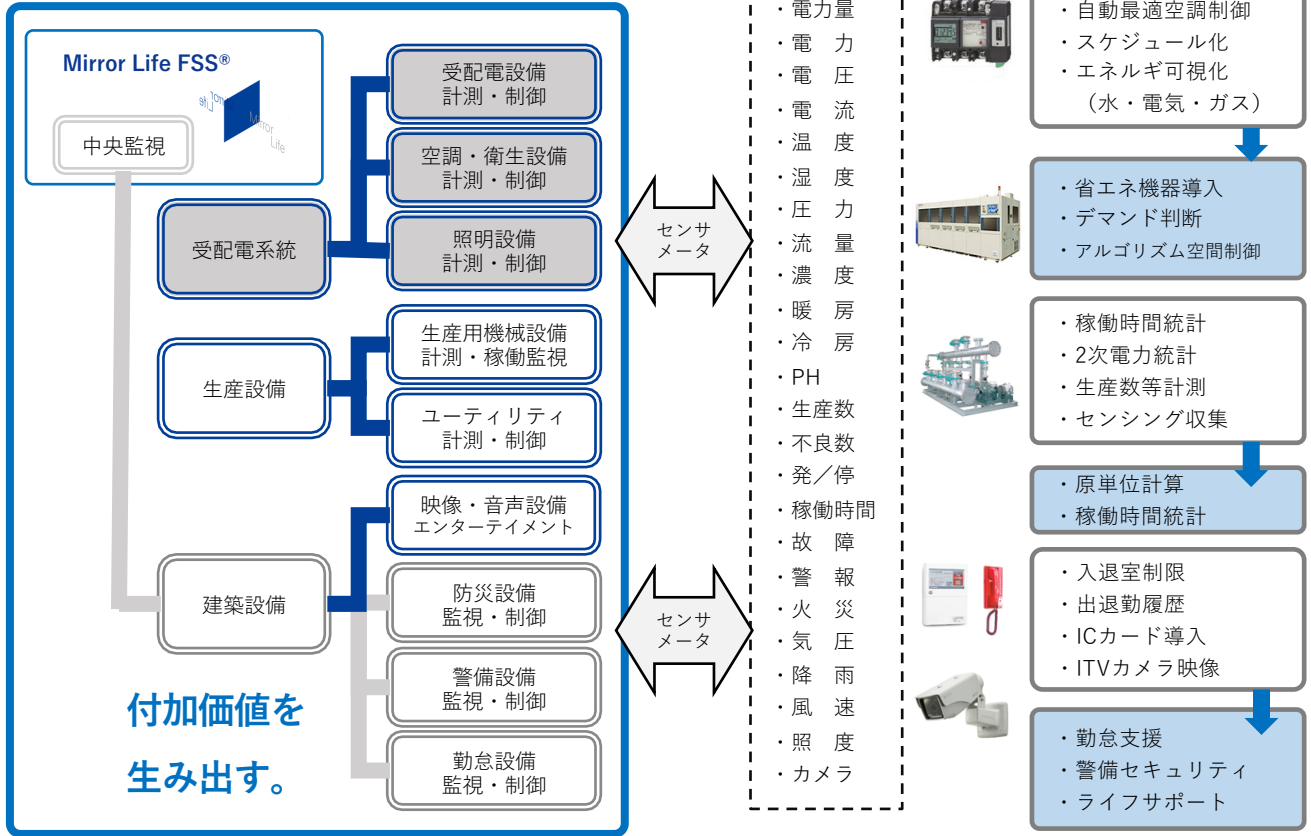
横串で情報を集め、活用する仕組み。

IoT建築による「ヒトとモノ」「モノとコト」「ヒトとコト」がつながる。



■ 中央監視システムの予算で + α の仕組みまで実現

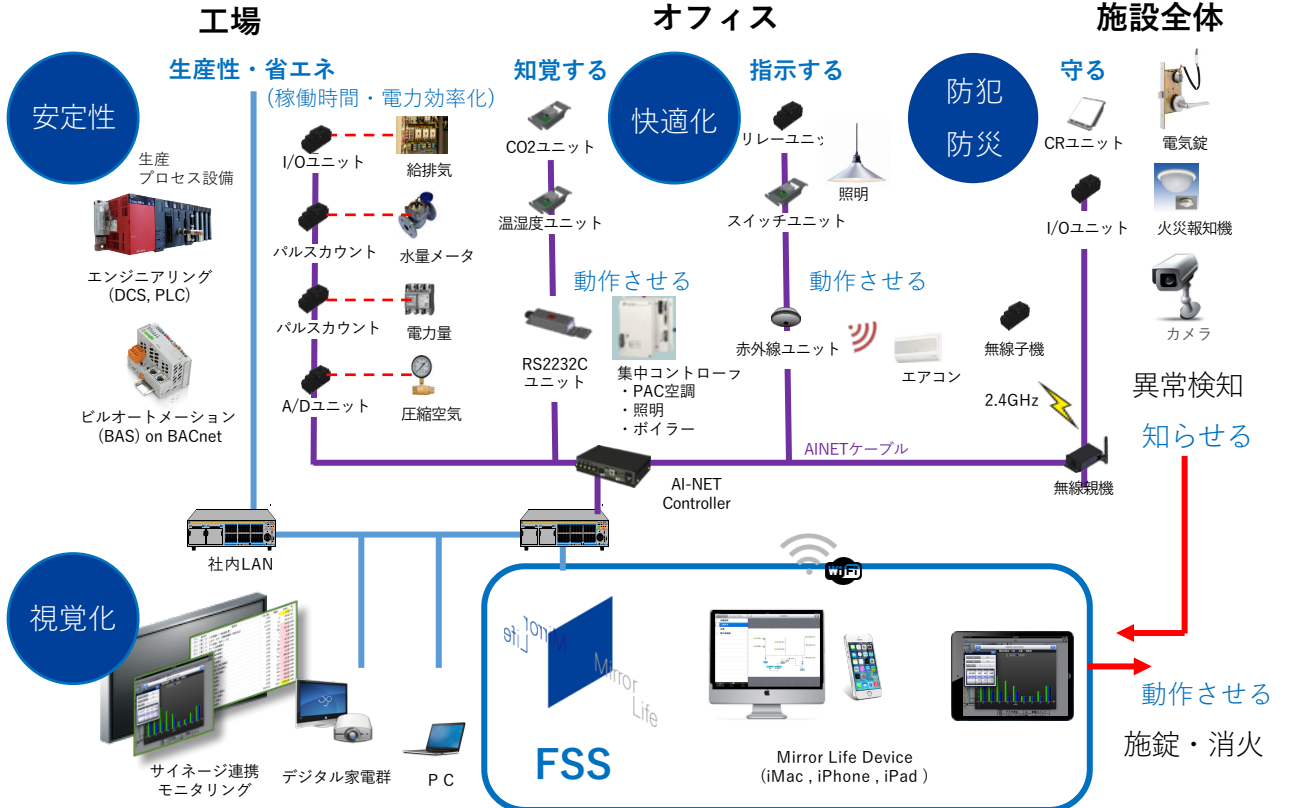
建築設備だけでなく、繋がらなかったものも繋げて可視化する基盤。



付加価値を
生み出す。

■ Mirror Life FSSの構成

要望 効率的な配置・運転 **要望** 快適な空気 **要望** 安全な場所



安定性

- 生産プロセス設備
- エンジニアリング (DCS, PLC)
- ビルオートメーション (BAS) on BACnet

工場

快適化

- 知覚する (CO2ユニット, 温湿度ユニット)
- 指示する (リレーユニット, スイッチユニット)
- 動作させる (集中コントロール: PAC空調, 照明, ボイラー)

オフィス

防犯防災

- 守る (CRユニット, 電気錠, 火災報知機)
- 異常検知 (カメラ)

施設全体

視覚化

- サイネージ連携モニタリング
- デジタル家電群
- PC

FSS

- Mirror Life Device (iMac, iPhone, iPad)
- 動作させる 施錠・消火